

秋田県立西仙北高等学校 中期ビジョン（5か年計画）

I 本校が目指す姿

(1) 学校の現状や課題

本校はこれまで、他校に先がけて「朝読書」や「キャリア教育」を取り入れるなど、種々の先進的な取組を実施してきました。現在はそうした取組を改善しながら、「西高チャレンジ」「朝活動」等、普通科募集定員60名の小規模校ならではの丁寧な指導を実施しています。

教育課程においては、2年次から「ビジネスコース」「ライフデザインコース」「文理総合コース」の3コース制とし、生徒の進路希望や適性に応じた学習・進路指導を展開し、各種検定にも挑戦しています。現在、進学希望者と就職希望者の割合はほぼ半々です。

また、地域ボランティアに積極的に取り組んでいるほか、「デンマーク社会福祉研修」やデンマーク北フン島高校との交流等、国際教育も展開しています。部活動は、5つの運動部、4つの文化部、1つの同好会があり、少人数ながら充実した取組が行われています。

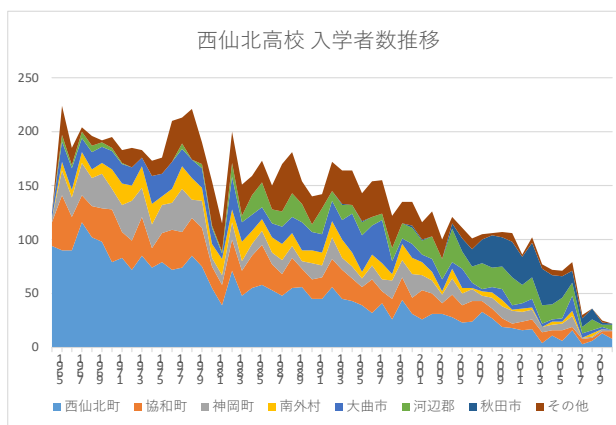
しかし、昨今の少子化にともない周辺市町村の中学校卒業者の減少が著しく、入学者が定員の半数に満たない状況がここ数年続いています。

(2) 学校を取り巻く状況と本校が目指す姿

近年、本校が立地する旧西仙北町周辺地域の中学校出身の生徒が減少するのに加えて、秋田市や大仙市東部など、本校周辺地域以外の中学校出身の生徒が激減しています。また、今後も同様な傾向が続くことが予想されます。

そこで、学校の活性化に向けては、地域に根ざしてきた本校創立以来の原点を再確認し、地域における存在価値を高めることで、魅力ある学校づくりに取り組んでいきます。具体的には、授業改善、キャリア教育の一層の充実、部活動やボランティア活動の活性化を図るとともに、地域との交流事業の創出をすすめます。また、情報発信の強化にも努めていきます。

令和7年度に創立60周年を迎える本校は、地域社会における確かな地歩を築いていきます。



※表中の市町村(郡)名は「平成の市町村合併」以前のものです。

(3) スクール・ポリシー

教育目標：「変化の時代を心豊かにたくましく生き、地域社会で活躍する人材の育成」
キャッチコピー：「Find Your Dreams -地域と共に-」

① グラデュエーション・ポリシー（目指す生徒像）

- ・身に付けた高い知性と幅広い教養をもとに、他と協働して課題解決ができる生徒。
- ・成人としての社会規範意識と思いやりの心をもち、自他の生命や人権を尊重する生徒。
- ・健やかな身体と強い意志で、自らの将来を切り拓くことができる生徒。

② カリキュラム・ポリシー（本校の学び）

- ・個の能力や進路志望に応じた学習を支援するとともに、探究的な学びを推進する。
- ・実践的な学びや多様な考え方に触れることを重んじ、協働的な学びや体験活動を充実させる。
- ・キャリア教育の視点から、生徒を主体とした学習や地域と連携した教育活動をすすめる。

③ アドミッション・ポリシー（求める生徒像）

- ・本校を志望する意志が明確で、意欲をもって学習に取り組む生徒。
- ・基本的な生活習慣が身に付いている生徒。
- ・思いやりの心、素直な心をもち、他者を認めることができる生徒。
- ・学校行事や部活動、体験活動等に積極的に取り組む生徒。

西仙北高校の目指す学校像と具体的な目標

「変化の時代を心豊かにたくましく生き、地域社会で活躍する人材の育成」

校訓

グラデュエーション・ポリシー

- | | |
|--|--|
| <p>向学 ——— ○</p> <p>友愛 ——— ○</p> <p>強健 ——— ○</p> | <p>身に付けた高い知性と幅広い教養をもとに、他と協働して課題解決ができる生徒</p> <p>成人としての社会規範意識と思いやりの心を持ち、自他の生命や人権を尊重する生徒</p> <p>健やかな身体と強い意志で、自らの将来を切り拓くことができる生徒</p> |
|--|--|

具体的な目標

〈カリキュラム・ポリシー〉

(1)基礎学力を固め、意欲を引き出す授業の開発・展開	(2)生徒指導体制の整備・充実	(3)キャリア教育の工夫・改善	(4)特色ある教育の推進等
----------------------------	-----------------	-----------------	---------------

II 5年間を通しての具体的な目標と取組

(1) 基礎学力を固め、意欲を引き出す授業の開発・展開

- ①授業を大切にすることを育みます。
 - ・「西高チャレンジ*」をさらに充実させ、基礎力の確実な定着を目指します。
 - ・T Tによる個に応じた指導をすすめます。
 - ・「朝活動」における学習・読書の計画的な実施を図ります。
- ②「主体的・対話的で深い学び」を授業で実践します。
 - ・ペアワークやグループ学習等を積極的に取り入れます。
 - ・探究的な学びのスタイルを日常化して、授業に対する生徒の積極性を高めます。
 - ・協働的に地域課題を発見・解決する「地域探究*」を通して、探究的な学習を発展させます。
- ③授業アンケートや生徒の自己評価の分析に基づく授業改善に努めます。
 - ・生徒の「授業アンケート」による評価を生かした授業改善を継続します。
 - ・校内研究授業や相互の授業参観を活発に行い、授業改善に努めます。
- ④授業のユニバーサルデザイン(UD)化をすすめるなど、わかりやすい授業を実践します。
 - ・「西高スタンダード(UD配慮指針)」に基づいて学習環境を整え、授業を展開します。
 - ・ICTを積極的に活用し、効果的な実践例を積み上げて確かな学力を育みます。

【用語の解説】

* 西高チャレンジ

平成24年度から「数学」と「英語」を、令和4年度からは「基礎教養」も加えて実施しています。中学校までの学習内容を学び直す基礎編と発展学習からなる応用編があり、生徒一人一人に対し複数の教員が丁寧な指導を行います。

* 学校設定教科「地域探究」

令和4年度開設。探究的な学習や体験活動などを通じて生徒同士、あるいは地域の方々をはじめ多様な他者と協働することを核とする教科で、持続可能な地域社会の創り手として必要な資質・能力を育成します。

(2) 生徒指導体制の整備・充実

- ①基本的なルール(生活・時間規律、情報モラル等)の遵守を徹底します。
 - ・整容を正し、身の回りをきれいにし、規律ある授業を行えるようにします。
 - ・SNS等の適切な利用方法を身に付けることにより、情報モラルに対する意識を高めます。
- ②生徒自身が主体的に考え、行動し、達成感や自己有用感を得る場面を設定します。
 - ・生徒会や委員会が運営する行事などにおいて、生徒の主体的な活動を推進します。
- ③家庭・地域等と連携して生徒を支援する体制を充実します。
 - ・「マンスリーチェック*」によって生徒の生活や健康について理解を深めます。あわせて、いじめ防止対策として活用し、早期の発見と迅速な対応につなげます。

- ・ P T A や地域機関等と連携した効果的な生活指導の在り方を模索します。

【用語の解説】

* マンスリーチェック

健康及び学校での人間関係の状況など、チェックシートを通して生徒の置かれた状態を月毎に確認しています。

(3) キャリア教育の工夫・改善

- ① 3 コース制を生かします。
 - ・ 3 コース（ビジネス、ライフデザイン、文理総合）それぞれの特徴を生かした教育課程を編成し、生徒が学習に意欲的・主体的に取り組めるようにします。
- ② 地域とのつながりに配慮した指導を展開します。
 - ・ 授業の相互参観や「デンマーク社会福祉研修*」の報告会を実施します。
 - ・ 地域や地域の小・中学校と連携した教育活動を推進します。
 - ・ 西仙北地域が連携して取り組む「大綱米プロジェクト*」に参加することで自己有用感を育みます。「地域探究」においても、地域の文化や産業に関わることで郷土を愛する心を育みます。
- ③ 自己のキャリアアップを図る機会を多く設定します。
 - ・ 望ましい勤労観を育成するために、総合的な探究の時間を積極的に活用します。
 - ・ 進路達成に役立つ各種資格・検定の取得を奨励します。
 - ・ インターンシップや職場及び大学等見学会へは全員が参加するようにします。
- ④ 校内外で講演・交流会等への参加を奨励します。
 - ・ 公開講座やオープンキャンパス等への参加を促します。
 - ・ 校内においても、授業や行事等で外部講師を積極的に活用します。
 - ・ 地域の社会人の協力を得るなどして実践的な面接練習を行います。

【用語の解説】

* デンマーク社会福祉研修

平成10年度から毎年デンマークへ生徒と教職員を派遣しています。公募により選抜された生徒が「ノーフュンスホイスクール」の短期留学生としてホームステイをして、進んだ社会福祉制度を学ぶとともに異文化への理解を深めます。

* 大綱米プロジェクト

西仙北地域で大仙市が主催しているもので、地域の伝統行事「刈和野の大綱引き」実施に向けた大綱づくりを、地域の園児、小学生、中学生とともに、田植えの段階から関わっていく取組です。

(4) 特色ある教育活動の推進等

- ① デンマーク社会福祉研修の充実を図ります。
 - ・ 「デンマーク社会福祉研修」を継続し、報告会等を実施してその成果を地域に発信します。
 - ・ デンマーク北フュン島高校との交流を継続し、異文化交流をすすめます。
- ② 地域と密接に連携した活動を展開します。
 - ・ 地域から歓迎されてきた「クリスマス飾り付けボランティア」や「ゴミ拾い・除雪・綱よいボランティア*」を継続し、地域貢献活動を通して郷土愛を育みます。
 - ・ 西高祭や体育祭等の学校行事への地域の方々の参加を募り、交流を深めます。
 - ・ 同窓会、後援会、P T A とのさらなる連携・協力体制を構築します。
- ③ 部活動、生徒会活動の活性化を図ります。
 - ・ 生徒会活動を活性化させ、少人数ならではの特性を生かしながら創造性を育てます。
 - ・ 部活動加入率を高めて多様性の確保を図り、その振興に努めます。
- ④ 教育活動の積極的な情報発信を行います。
 - ・ I C T を活用し、教員と生徒・保護者間で学習内容や生徒理解を深める情報交換をすすめます。
 - ・ 「西高だより*」の発行を継続し、また、地域に本校の魅力を伝える内容の充実を努めます。
 - ・ ホームページの内容を充実させ、教育活動や生徒の活躍をタイムリーに発信します。

【用語の解説】

* 綱よいボランティア

地元の行事である重要無形民俗文化財「刈和野の大綱引き」の綱を作りあげる最終段階で、地域の小・中学生と共に参加しています。大綱は直径80cm、長さは雄綱が64m、雌綱が50m。多くの人手と労力を要します。刈和野駅前にある大綱展示場に展示されている実物大レプリカの作成においても、本校生徒が寄与しています。

* 西高だより

本校の活動状況を知らせる広報紙。小・中学校と公共機関、本校関係者へ毎月配付しています。令和3年度からは大仙市役所西仙北支所のご協力を得て、隔月で西仙北地域全世帯に配付しています。